授業科目 がん治療看護学

【担当教員名】 栗原 弥生	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要・一般目標：GI0】

がんの発生および死亡の動向に対する国の対策をふまえ、がんと治療に伴うがん看護の特徴を理解し、がん患者を基本的看護、がんの予防、早期発見の必要性を理解する。

がん治療に伴う倫理的問題を理解し、がん患者の病期の変化に伴う治療と病状や苦痛・苦悩を理解し、患者・家族のQOLの維持・向上をアプローチする必要性を理解する。

【学習目標】

1. がんの特性と患者の治療に伴う看護を理解する。
2. がん患者の理解とQOLのアプローチを理解する。
3. がんの発生、死亡の動向に対するがん対策を理解する。
4. がん予防・早期発見活動の必要性を理解する。
5. がん治療として方法による作用、副作用と倫理的課題を理解する。
6. がん患者・家族の治療に伴う援助の必要性を理解する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	がんの特性と患者の治療・看護の理解 1)がんの動向 2)病態の特殊性 3)がん医療及び治療の特殊性 4)心理的・社会的特徴 5)がん治療におけるチームアプローチ	1	講義
2	がん患者の基本的看護	2	講義
3	がん患者とQOL	2.3	講義
4	がん予防 早期発見活動	4	講義
5	がん治療に伴う看護と倫理的問題 1)手術療法の患者の看護	2.5	講義
6	2)化学療法の患者の看護	5	講義
7	3)放射線療法の患者の看護	5.6	講義
8	4)がん患者・家族の治療に伴う援助 まとめ		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	必要時 資料を提示する			
参考書	がん患者の看護 がんの統計' 08	監修 氏家幸子	広川書店 財団法人がん研究振興財団	
その他の資料				

【評価方法】

出席・レポート・定期試験で評価する
レポート評価 40%
定期試験 60%

【履修上の留意点】

参考書を活用し、自主的に学習する。